

平成 26 年 4 月 1 日

農業水利施設補修工事品質管理士が技術者評価資格になりました

(一社)農業土木事業協会

(一社)農業土木事業協会は、農業水利施設補修工事品質管理士[コンクリート構造物分野]制度を創設し、平成 24 年度から講習会及び認定試験を実施しています。

対象者は、農業水利施設の補修工事を施工する建設会社の技術者、同工事の設計や現場技術業務に携わる建設コンサルタント等の技術者及び設計・施工管理業務に従事する発注官庁の技術者を予定しています。

農業水利施設補修工事品質管理士の位置付け

農業水利施設補修工事品質管理士[コンクリート構造物分野]（以下、「品質管理士」という）は、(一社)農業土木事業協会が実施する講習会を受講し、更に試験により一定水準の農業水利施設(コンクリート構造物)の補修工事の技術能力を有すると認定され、登録した者に与えられる資格です。

このような趣旨から、品質管理士は農業水利施設(コンクリート構造物)の補修工事の設計、施工・施工管理業務に従事していくことが主要な活躍の場になります。

補修工事の材料・工法は多種多様であり、品質管理士は、その中から農業水利施設の補修工事の要求性能に合致した材料・工法を選定できる技術知見が求められます。

また、農業水利施設の補修工事は、一般にかんがい期以降の寒冷で湿潤な施工環境下での施工となり、断水期間も限られることが多いため、品質管理士は、精緻な仮設や施工計画を樹立する技術知見と工事の品質確保のための施工管理においても適切な指導力を発揮していくことが求められます。

総合評価方式の発注工事において技術者評価の対象

農業水利施設(コンクリート構造物)の補修工事の設計、施工・施工管理では、補修工事特有の技術と施工環境についての知見が必要であり、これらの知識と技術が補修工事の設計、施工の品質確保に寄与することとなります。

農林水産省農村振興局所管の直轄工事に関する総合評価落札方式の実施においては、今後その技術力を証明する品質管理士を技術者評価することで、施工現場に技術保有者を獲得し、より一層の高品質な現場施工を期待することとしています。

運用の詳細資料

「工事に関する総合評価落札方式の実施に伴う事務手続きの運用について」は次頁に添付。

○工事に関する総合評価落札方式の実施に伴う事務手続きの運用について
(農業水利施設補修工事品質管理士に関する評価基準等の抜粋)

農村振興局所管の直轄工事に関する総合評価落札方式の実施手続きは以下のとおり運用されます。

なお、適用については平成26年4月1日以降に入札手続きを開始する工事からとなります。

1. 標準B型における評価項目及び評価基準

標準的な評価項目及び評価基準について別紙①のとおり

2. 簡易型における評価項目及び評価基準

標準的な評価項目及び評価基準について別紙②のとおり

別紙①

標準B型(施工計画重視型)における評価項目及び評価基準(標準例)

評価項目		評価基準	評価点
企業評価	優良工事表彰実績(地域貢献活動表彰を除く) 管内直轄/過去3年間	大臣、農村振興局長 (当該)農政局長 表彰	2点 1点
	工事成績評定(平均点) 管内直轄/過去3年間	75点以上	2点
	地域への貢献、地域貢献活動への支援(継続的な支援活動) (右の標準例に示す活動。無償に限る。) 管内/過去3年間	優良工事表彰における地域貢献活動の表彰実績有り(直轄)。 管内における農地・農業用水等の資源保全、造成施設の保管理、農村環境保全、住民参加型直営施工、耕作放棄地解消活動、農村地域防災活動等に対して企業としての継続的な支援実績。	2点 1点
	地域への貢献、地域貢献活動への支援(災害協定) 管内	土地改良施設等を対象とした国、地方公共団体、特殊法人、土地改良区等との災害協定の締結有り(所属する建設協会等が協定を締結し、災害時における自社の実施体制が確認できるものも対象。申請書提出期限の日において締結を行っているもの。)	1点
	地域への貢献、地域貢献活動への支援(災害活動実績) (有償・無償を問わない) 管内/過去3年間	災害協定に基づく災害活動実績有り(除雪作業は含まない)。 災害協定に基づかない災害活動実績。 国及び地方公共団体の除雪作業(通常時も含む)。	1点 0.5点
	手持ち工事量 当該年度の管内直轄工事の契約件数 (契約金額(税込み)〇〇円以上を対象) 【発注する当該工事等級の予定価格の範囲の下位の金額を記載(D等級:250万円以上)、等級の設定がない工事は土木工事に準拠】	0件 1件 2件以上	3点 1点 0点
	不正又は不誠実な行為等 管内直轄	営業停止、指名停止、文書注意の履歴有り。 (減点の対象とする期間等については、入札説明書等へ明示すること。)	-2点
	(7項目)		最高11点
	配置予定技術者の資格取得後の経験年数 土木工事は(一級土木施工管理技士) 【施設機械設備等工事は、別紙④を参照】	5年以上	1点
	配置予定技術者の保有資格 【施設機械設備等工事は、別紙④を参照】	技術士(農業土木又は当該工事に該当する技術部門の選択科目)、農業土木技術管理士、畑地かんがい技士、農業水利施設機能総合診断士、 <u>農業水利施設補修工事品質管理士</u> 、コンクリート技士等。 (※対象とする資格については、工事の特性に応じ、案件ごとに定め入札説明書に明示すること。)	1点
技術者評価	工事の施工経験 全国 主任(監理)技術者、現場代理人、担当技術者としての従事を評価(※担当技術者としての施工経験は1点を上限とする。)	過去3年間 下記工事以上の施工実績有り。 (例)工事:管水路(DCIP)φ800mm L=300m 過去10年間 上記工事以上の施工実績有り。	2点 1点
	優良工事表彰実績 管内直轄/過去3年間 主任(監理)技術者、現場代理人、担当技術者としての従事を評価(※担当技術者としての表彰実績は1点を上限とする。)	大臣、農村振興局長 (当該)農政局長 表彰	2点 1点
	継続教育(GPD)への取り組み状況	農業農村整備に関する継続教育【公益社団法人農業農村工学会の証明】の前年度取得ポイント証明(15ポイント以上)有り。 上記以外の建設系CPD協議会に加盟する機関が発行する継続教育の前年度取得ポイント証明(15ポイント以上)有り。	2点 1点
	(5項目)		最高8点
	技術提案の適切性	技術提案の内容を評価し、評価点の範囲内で加点する。 (※提案に対する具体的な評価・加点の基準については、工事の特性に応じ、案件ごとに定め入札説明書に明示すること。)	1~25点
技術提案	以下の事項から課題を提示し、課題数にかかわらず1~3提案を求める (土地改良法等に基づく農業農村整備工事で構築する構造物の目的と役割に関する知見 施工計画・上考慮すべき事項 工期設定・工程管理 発注者が指定した施工上の課題への対応 発注者が指定した部材・工法等の品質の確認方法、管理方法 上記以外の項目)	適切である。 不適切である。	0点 欠格
	(1項目)		最高25点
	(13項目)		最高44点

(次の頁へ続く)

(標準B型の続き)

企業評価に関する選択項目(予定価格が23億円以上の工事を対象に、企業評価の項目に追加して評価することができる。)

企業評価	地元企業活用 (本工事の契約額に占める地元企業との下請予定契約金額の割合を評価)	35%以上	2点
		25%以上 35%未満	1点
		下請け業者は同種工事(規模は問わない)の元請け施工実績有り。	1点

企業評価に関する選択項目(工事難易度がIV程度以上の工事に対して、企業評価の項目に追加して評価することができる。)

企業評価	VE提案 管内直轄/過去3年間	完成時評定 IV、V、VI評価	2点
------	--------------------	-----------------	----

技術者評価に関する選択項目(工事難易度がIV程度以上の工事に対して、技術者評価の項目に追加して評価することができる。)

技術者評価	工事成績評定(平均点) 管内直轄/過去3年間 主任(監理)技術者、現場代理人、担当技術者としての従事を評価 (※担当技術者としての従事の評価は1点を上限とする。)	75点以上	2点
-------	--	-------	----

別紙②

簡易 I 型における評価項目及び評価基準(標準例)

評価項目		評価基準	評価点
企業評価	優良工事表彰実績(地域貢献活動表彰を除く) 管内直轄/過去3年間	大臣、農村振興局長 (当該)農政局長 表彰	2点 1点
	工事成績評定(平均点) 管内直轄/過去3年間	75点以上	2点
	地域精通度	当該工事実施地域内(受益市町村内)等に本社(本店)を有していること、又は、該当する都府県発注の農業農村整備工事に係る優良工事表彰実績有り。 (知事・部長/過去3年間)	1点
	地域への貢献、地域貢献活動への支援(継続的な支援活動) (右の標準例に示す活動。無償に限る。) 管内/過去3年間	優良工事表彰における地域貢献活動の表彰実績有り(直轄)。 管内における農地・農業用水等の資源保全、造成施設の保全管理、農村環境保全、住民参加型直営施工、耕作放棄地解消活動、農村地域防災活動等に対して企業としての継続的な支援実績。	2点 1点
	地域への貢献、地域貢献活動への支援(災害協定) 管内	土地改良施設等を対象とした国、地方公共団体、特殊法人、土地改良区等との災害協定の締結有り(所属する建設協会等が協定を締結し、災害時における自社の実施体制が確認できるものも対象。申請書提出期限の日において締結を行っているもの。)	1点
	地域への貢献、地域貢献活動への支援(災害活動実績) (有償・無償を問わない) 管内/過去3年間	災害協定に基づく災害活動実績有り(除雪作業は含まない) 災害協定に基づかない災害活動実績。 国及び地方公共団体の除雪作業(通常時も含む)。	1点 0.5点
	手持ち工事量 当該年度の管内直轄工事の受注契約件数 (契約金額(税込み)〇〇円以上を対象) 【発注する当該工事等級の予定価格の範囲の下位の金額を記載(D等級:250万円以上)、等級の設定がない工事は土木工事に準拠】	0件 1件 2件以上	3点 1点 0点
	不正又は不誠実な行為等 管内直轄	営業停止、指名停止、文書注意の履歴有り。 (減点の対象とする期間等については、入札説明書等へ明示すること。)	-2点
	(8項目)		最高12点
技術者評価	配置予定技術者の資格取得後の経験年数 土木工事は(一又は二級土木施工管理技士) 【施設機械設備等工事は、別紙④を参照】	5年以上	1点
	配置予定技術者の保有資格 【施設機械設備等工事は、別紙④を参照】	技術士(農業土木又は当該工事に該当する技術部門の選択科目)、農業土木技術管理士、畑地かんがい技士、農業水利施設機能総合診断士、 <u>農業水利施設補修工事品質管理士</u> 、コンクリート技士等。 (※対象とする資格については、工事の特性に応じ、案件ごとに定め入札説明書に明示すること。)	1点
	工事の施工経験 管内 主任(監理)技術者、現場代理人、担当技術者としての従事を評価(※担当技術者としての施工経験は1点を上限とする。)	過去3年間 下記工事以上の施工実績有り。 (例)工事:管水路(DCIP)φ800mm L=300m	2点
	優良工事表彰実績 管内直轄/過去3年間 主任(監理)技術者、現場代理人、担当技術者としての従事を評価(※担当技術者としての表彰実績は1点を上限とする。)	大臣、農村振興局長 (当該)農政局長	2点 1点
	継続教育(CPD)への取り組み状況	農業農村整備に関する継続教育【公益社団法人農業農村工学会の証明】の前年度取得ポイント証明(15ポイント以上)有り。 上記以外の建設系CPD協議会に加盟する機関が発行する継続教育の前年度取得ポイント証明(15ポイント以上)有り。	2点 1点
	(5項目)		最高8点
簡易な施工計画	施工上考慮すべき事項に対する提案の適切性	特定の課題等について評価し、評価点の範囲内で加点する。 (※提案に対する具体的な評価・加点の基準については、工事の特性に応じ、案件ごとに定め入札説明書に明示すること。)	1~10点
	以下の事項から1課題を提示し、提案を求める。 施工計画に配慮すべき事項 (工期設定、工程管理) 発注者が指定した施工上の課題への対応 部材・工法等の品質の確認方法、管理方法 上記以外の項目	適切である。 不適切である。	0点 欠格
	(1項目)		10点
	(14項目)		最高30点

(次の頁へ続く)

(簡易Ⅰ型の続き)

企業評価に関する選択項目(工事難易度がⅢ程度以上の工事に対して、技術者評価の項目に追加して評価することができる。)

企業 評価	工事の施工経験 管内／過去5年間	下記工事以上の施工実績を有する。 (例)工事:管水路(DCIP)φ800mm L=300m	2点
----------	---------------------	--	----

技術者評価に関する選択項目(工事難易度がⅢ程度以上の工事に対して、技術者評価の項目に追加して評価することができる。)

技術 者 評 価	工事成績評定(平均点) 管内直轄／過去3年間 主任(監理)技術者、現場代理人、担当技術者としての従事を評価(※担当技術者としての従事の 評価は1点を上限とする。)	75点以上	2点
-------------------	--	-------	----

簡易Ⅱ型における評価項目及び評価基準(標準例)

評価項目		評価基準	評価点
企業 評価	優良工事表彰実績(地域貢献活動表彰を除く) 管内直轄／過去3年間	大臣、農林振興局長	2点
		当該農政局長	1点
	工事成績評定(平均点) 管内直轄／過去3年間	75点以上	2点
	地域精通度	当該工事実施地域内(受益市町村内)等に本社(本店)を有していること、又は、該当する都府県発注の農業農村整備工事に係る優良工事表彰実績有り。 (知事・部長／過去3年間)	1点
	地域への貢献、地域貢献活動への支援(継続的な支援活動) (右の標準例に示す活動。無償に限る。) 管内／過去3年間	優良工事表彰における地域貢献活動の表彰実績有り(直轄)。	2点
		管内における農地・農業用水等の資源保全、造成施設の保全管理、農村環境保全、住民参加型直営施工、耕作放棄地解消活動、農村地域防災活動等に対して企業としての継続的な支援実績。	1点
	地域への貢献、地域貢献活動への支援(災害協定) 管内	土地改良施設等を対象とした国、地方公共団体、特殊法人、土地改良区等との災害協定の締結有り(所属する建設協会等が協定を締結し、災害時における自社の実施体制が確認できるものも対象。申請書提出期限の日において締結を行っているもの。)	1点
	地域への貢献、地域貢献活動への支援(災害活動実績) (有償・無償を問わない) 管内／過去3年間	災害協定に基づく災害活動実績有り(除雪作業は含まない)	1点
		災害協定に基づかない災害活動実績。 国及び地方公共団体の除雪作業(通常時も含む)。	0.5点
	当該地域内での施工実績 過去3年間	当該工事実施地域内(受益市町村内)等での農業農村整備関係部門(国営、都道府県営、団体営)工事の施工実績有り。 (※当該地域の範囲については、案件ごとに定め入札説明書に明記すること。)	2点
	手持ち工事量 当該年度の管内直轄工事の受注契約件数 (契約金額(税込み)〇〇円以上を対象)	0件	3点
		1件	1点
	【発注する当該工事等級の予定価格の範囲の下位の金額を記載(D等級:250万円以上、等級の設定がない工事は土木工事に準拠)】	2件以上	0点
	不正又は不誠実な行為等 管内直轄	営業停止、指名停止、文書注意の履歴有り。 (減点の対象とする期間等については、入札説明書等へ明示すること。)	-2点
(9項目)			最高14点
技術 者 評 価	配置予定技術者の資格取得後の経験年数 土木工事は(一又は二級土木施工管理技士) 【施設機械設備等工事は、別紙④を参照】	5年以上	1点
	配置予定技術者の保有資格 【施設機械設備等工事は、別紙④を参照】	技術士(農業土木又は当該工事に該当する技術部門の選択科目)、農業土木技術管理士、畑地かんがい技士、農業水利施設機能総合診断士、農業水利施設補修工事品質管理士、コンクリート技士等。 (※対象とする資格については、工事の特性に応じ、案件ごとに定め入札説明書に明示すること。)	1点
	工事の施工経験 管内 主任(監理)技術者、現場代理人、担当技術者としての従事を評価(※担当技術者としての施工経験は1点を上限とする。)	過去3年間 下記工事以上の施工実績有り。 (例)工事:管水路(DCIP)φ800mm L=300m	2点
		過去10年間 上記工事以上の施工実績有り。	1点
	優良工事表彰実績 管内直轄／過去3年間 主任(監理)技術者、現場代理人、担当技術者としての従事を評価(※担当技術者としての施工経験は1点を上限とする。)	大臣、農林振興局長 当該農政局長 表彰	2点 1点

(次の頁へ続く)

(簡易Ⅱ型の続き)

技術者評価	当該地域内での施工実績 過去3年間 主任(監理)技術者、現場代理人、担当技術者としての従事を評価	当該工事実施地域内(受益市町村内)等での農業農村整備関係部門(国営、都道府県営、団体営)工事の施工実績有り。 (※当該地域の範囲については、案件毎に定め入札説明書に明記すること。)	2点
	継続教育(CPD)への取り組み状況	農業農村整備に関する継続教育【公益社団法人農業農村工学会の証明】の前年度取得ポイント証明(15ポイント以上)有り。	2点
		上記以外の建設系CPD協議会に加盟する機関が発行する継続教育の前年度取得ポイント証明(15ポイント以上)有り。	1点
	(6項目)		
(15項目)			最高24点

企業評価に関する選択項目(工事難易度がⅢ程度以上の工事に対して、技術者評価の項目に追加して評価することができる。)

企業評価	工事の施工経験 管内／過去5年間	下記工事以上の施工実績を有する。 (例)工事:管水路(DCIP)φ800mm L=300m	2点
------	---------------------	--	----

技術者評価に関する選択項目(工事難易度がⅢ程度以上の工事に対して、技術者評価の項目に追加して評価することができる。)

技術者評価	工事成績評定(平均点) 管内直轄／過去3年間 主任(監理)技術者、現場代理人、担当技術者としての従事を評価(※担当技術者としての従事の評価は1点を上限とする。)	75点以上	2点
-------	--	-------	----

